



2016～2017年度
八幡西ロータリークラブ

週報

2016～2017年度 国際ロータリーのテーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

会長 江戸 達也 会報委員会
副会長 吉田 総次郎 三島 靖男 高嶋 雅樹
幹事 高橋 良知 神尾 康生 榑野 晴司

福田 学 RI 第2700地区富田英壽ガバナーのメッセージ
「基本に戻って、魅力あるロータリーに」

創立: 1967年6月2日 例会: 毎週金曜日 12時30分 例会会場: 千草ホテル

本日の例会 6月2日

1. 君が代斉唱
2. ロータリーソング “奉仕の理想”
3. 来客紹介
4. 出席状況の報告
5. 祝誕生 榑野晴司 君 S47年6月2日
6. 会長の時間
7. 各委員会報告
8. ニコニコボックスの報告
9. 幹事報告
10. 卓話
「満、創立50周年記念例会に因んで」
江崎嘉春・金久保和・榑野晴司の諸君

幹事報告 幹事 高橋 良知

例会臨時変更のお知らせ。

- ★八幡南RC
6月22日(木) 18:30～ホテルクラウンパレス
- ★門司西RC
6月22日(木) 18:30～山水園
- ★直方中央RC
6月26日(月) 18:30～長谷川
- ★遠賀RC
6月27日(火) 18:30～料亭 古仙

お誕生日おめでとう

有松稔晃 君 昭和39年5月19日生

誕生日お祝い有難うございます。53歳になりました。52歳からドラえもんになりました。さまざまご意見の中に「ドラえもんの顔が小さかった」とご指摘がありました。生まれて初めて顔が小さいと言われました！！非常に喜ばしい53歳となりました。今年もどんどん新しいことにチャレンジしていきます！！ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



次回の予告 6月9日

“新会員歓迎会”
19:00～ 千草ホテル

前例会の記録 5月26日

出席報告 例会食事カロリー 1,280Kcal

会員数55名

- ・当日の出席者数 42名
- ・会員出席率 77.78%
- ・ゲスト 2名
- ・4月21日の修正出席率 84.91%
- ゲスト: <スピーカー> 川原尚行様
(株) 総和顧問 宮武慎一様

会長の時間 会長 江戸 達也

皆様、5月20日に開催されました、創立50周年行事、会員一同一致団結して成功裡に終えることが出来ました。有難うございました。また、大変ご苦労さまでした。各部署においては色々な苦労、また表には出なかったにしても段取りミスもあったのではないのでしょうか。各部署の責任者の方々は後々の為に申送り書等を作成し後輩に残して頂ければと思います。宜しくお願ひします。

委員会・同好会報告

インタラクティブ委員会 委員長 井口昭彦

昨日インタラクティブクラブの例会がありました。今度3年生が多数引退し5人の1年生が入ってきました。4月29日柳川で年次大会がありました。台湾の研修旅行の報告など大変意義のあるものでした。6月15日本年度最後のインター

アクトクラブですのでぜひご参加ください。6月9日、10日に文化祭もあります。こちらでもぜひご参加ください。

親睦委員会 委員長 有松稔晃

新会員歓迎会を6月9日の19時から千草ホテルで行いますので皆様ぜひご参加ください。

ゴルフ同好会 幹事 松尾和典

6月17日・18日が今期の取りきり戦ですので出欠よろしくお祈いします。

卓話

『混沌とする世界情勢の中、八幡からスーダン
「医」を届ける』

NPO法人 ロシナンテス
理事長 川原尚行 様
(株) 総和 顧問 宮武慎一 様



・巡回診療

社会インフラが十分でないスーダンでは、十分な医療施設がなく、たとえ病気になっても適切な診療を受けることができません。そのため、私たち医療サービスチームが、車で2週間かけて、約29の村を回り、より良い医療サービスを届けるために尽力しています。

(リーダー・メディカルアシスタント・検査技師・助産師・栄養師2名・ワクチン接種担当・医療統

計担当・運転手) 巡回診療車で砂漠の村々を回り、一般診察や母子健診、予防接種、栄養指導などをすすめています。当初から力をいれてきた母子保健活動も継続中です。

・診療所プロジェクト

巡回診療を行っているウッドアブサーレ区は、月に一度の医療しか受けられません。そのため、緊急対応や継続的な診療ができず、救うことのできない命があります。私たちは、スーダン保健省を交えて診療所の建設に立ち上がりました巡回診療を行っているウッドアブサーレ区の面積は、東京都とほぼ同じ。ここに29の無医村が点在し、約2万人の住民が生活をしています。医療スタッフたちは、2週間をかけて砂漠つづきのこの地域を回り、活動しているのです。灼熱の大地での移動は、過酷を極めます。その一方で、村人から見れば、診療を受けられるチャンスは月に1度。そのため、地元住民からは、「いつでも医療が受けられる診療所が欲しい」との強い要望がありました。それなら、診療所をつくろう。私たちは決意を固め、スーダン保健省を交えて話し合いを重ねました。その結果、地理的な事情と周辺人口を考慮して、アルセレリア村、アルハムダ村、ウッド・シェウエイン村の3村を建設予定地として設定。実現のための取り組みを始めました。この地域にある建築物は、スーダンの土からできるレンガで作られます。もちろん、診療所もレンガで作るのです。そこで、この事業名を「土とレンガの診療所プロジェクト」とし、その資金提供を日本のみなさまにお願いしました。「土とレンガの診療所プロジェク

ト」基金に集まった総額は、2016年3月末で、14,270,405円。多くの方々に、多大なご協力をいただきました。今回建設したアルセレリア村診療所の総工費は、10,000,000円。2016年3月15日に完成し、スーダン保健省への引き渡しを終えています。引き続き、アルハムダ村、ウッド・シェウエイン村の診療所建設に向けて、動き始める予定です。診療所の建設にあたって、設計は地元の方をお願いしました。風の向きを考えて、この風土にあった設計が行われました。医療機器や診療所の備品は、日本の医療機器を販売しているスーダンの業者、「ナシフ」が寄付してくださいました。診療所の周囲には、アルセレリア村の住民から寄贈された樹々が植えられ、彩りを添えています。スーダンと日本。2つの国の人々によって、アルセレリア村の住民が切望した診療所は完成しました。ここで、スーダンの人々によるスーダンの人々のための診療が始まります。

・水事業

スーダンには、川やため池の水をそのまま飲用している人たちが多くいます。それが原因で、感染症が多数発症しています。井戸を掘ろうにも、もともと地下水脈がない、十分な資金がない、などの理由で、きれいで安全な水が得られていません。川やため池の水の浄化方法が幾つかありますが、浄化後の水質検査や、浄化の仕方が適正なのかを調査しています。きれいで安全な水が、安価に供給出来ることは、スーダンのみならずアフリカ諸国での医療の根源とも言えます。診療所にはきれいで安全な水が必要です。これからも給水施設の充実を目指していきます。また、幾つか水の浄化方法がありますが、それぞれに長所と短所がありまだ完全なものは存在していません。安価に出来る水の浄化システムの確立を目指していきます。ロシナンテスの活動は皆さまのご寄付に支えられています。世界と日本の子どもたちの明日の笑顔のために、皆さまのご協力をお願いします。

<https://www.rocinantes.org/support/member/>

ニコニコボックス

・式典委員会の皆様、有難うございました。おかげ様で無事に終わりました。改めてお礼申し上げます。 富田君

・ケント・ギルバートさんの良い講演会でした。皆さんご協力ありがとうございました。吉田君
・先日の式典祝宴委員会の皆様、お疲れ様でした。クラブ外の方からも「とても楽しかった」というお褒めのことばを頂きました。荒井、正木の諸君
・江戸会長をはじめ、50周年式典実行委員会有志の皆様、素敵な品をいただきまして、ありがとうございます。出来上がりましたら披露いたします。昨日、一昨日は大変楽しかったです。また行きましょう。 岩崎君

・50周年記念事業おつかれさまでした。
井上、伊豆、小嶋、谷、舟木(和)、浜崎、是此田、藤村、松尾、井口、金久保、安東、稲富、江戸、廣田、柿本、大林、江崎、村山、三島、曾我部、中村、永吉 の諸君

・誕生自祝 ドラえもんありがとうございます。 有松君

・早退します。すみません。 緒方君